

街づくりにG空間情報をどう生かすか？

～北陸G空間×ICT街づくり推進セミナー～

総務省は、G空間情報（地理空間情報）をICTによって高度に利活用することにより、経済の再生だけでなく、地域の問題解決や活性化などの実現を目指しており、その施策の一環として各地で様々な活動を行っています。今回、北陸では北陸総合通信局と北陸情報通信協議会が主催して、街づくりをテーマとしたセミナーを、7月6日（月）、石川県地場産業振興センターにて約80名の参加者をお迎えして行いました。



情報通信研究機構
研究マネージャー
長屋 嘉明氏講演

セミナーではまず、国立研究開発法人 情報通信研究機構ソーシャルICT研究室 研究マネージャー 長屋 嘉明氏から、G空間プラットフォーム構築の目的と全体スケジュールのお話を頂くとともに、プラットフォームの要件定義や機能設計など開発状況と課題、防災や観光、地域活性化などの検証事例などにつきまして講演を頂きました。

続いての講演では、富山大学人文学部 准教授 大西 宏治氏から、富山市での地理情報活用を例に、古地図と現在の地図との比較による防災対策などについてのお話をいただきました。この中では、市民が地理情報を活用するには、若年からの地理教育が重要であること、また、市民にとって使いやすいインターフェースの重要性についてお話をいただきました。

最後に事例紹介として、金沢工業大学空間情報プロジェクト地上型レーザ計測マニュアルWG幹事 (株)日本海コンサルタント 西本 憲正氏及びWGメンバー (株)桑原計測社 桑原 直樹氏から、WGにおける実証試験とその結果、また実際の現場・場面での利活用事例について紹介をいただきました。



北陸総合通信局長
星 克明あいさつ



富山大学
准教授
大西 宏治氏講演



(株)日本海コンサルタント
西本 憲正氏講演



(株)桑原計測社
桑原 直樹氏講演



セミナー会場の様子

参加された方々には、様々な事例などをとおして、G空間情報とICTを掛け合わせた街づくりについて理解を深めていただきました。